

「青い目の人形・あいちの会」会報
 第1号 設立総会特集 2021・3
 (会員募集用 普及版)



ワタシタチ人形の「あいちの会」ができました。

1927年にアメリカより約12,000体、そして各県の尋常小学校へ行ったワタシタチ。
 戦前に平和のメッセージを伝えるために来ましたが、戦争で多くの仲間は消えました。
 現存する仲間、全国341体(愛知県10体)のスピリットはまだ生きています。
 ワタシタチに再び平和を求める「親善大使」の役割を与えて下さい。

あいち 青い目の人形一同 2020/11/29



(写真は幸田町教育委員会編『青の目の人形調査報告書』2018より)

後列左から グレース・エッサ、 アテナ、 コルマ・デル、 グレース・A・グリーン、 プリシラ・キングスレイ
 前列左から ノルマン、 ヘレン、 コネタ、 エセル・ディーン、 マーシャル・セントラル (所蔵校等はうら表紙の地図参照)

人形交流は渋沢栄一とシドニー・ギューリックの出会いで始まった。

平和の「大使」後世に



シドニー・ギューリック博士

シドニー・ギューリック
 人形交流の創始者
 (同志社大学神学部蔵)

「青い目の人形」戦前、米国と交流

中日・東京両紙
 に同時掲載

東京新聞

夕刊
 中日新聞東京本社
 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
 〒100-8505 電話 03(6910)2211

2020.11.27(金)

紙面から

「青い目が訴える平和」
 「青い目の人形」に託された平和への思いを伝えようと、愛知県有志が活動

青い目の人形 願いを後世に

日米関係が悪化しつつあった大正洋戦前、米国の宣教師が関係改善を願い、日本に一万二千体を贈った「青い目の人形」。愛知県内にも複数残っていることをきっかけに、県内の元教員ら有志は二十九日、愛知親善人形の会(仮称)を立ち上げる。当時の経緯を後世に伝え、「世界から戦争をなくしたい」と話している。(岡村淳司)

中日新聞 夕刊

2020年(令和2年) 11月26日(木)

きょうの紙面

青い目の人形 願い後世に



渋沢栄一(渋澤史料館蔵)人形を全国に配布しました。NHK大河ドラマ主人公